

2025年度 基礎研修Ⅰ 開催のお知らせ

主催：東京社会福祉士会 生涯研修センター

基礎研修は、基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲの3段階で構成され、社会福祉士会に入会して初めに受ける研修として位置付けられています。

<基礎研修とは・・・>

- ・基礎研修は、社会福祉士として共通に必要な価値・知識・技術を学び、社会福祉士の専門性の基礎を身につけることを目的としています。基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲそれぞれに1年、合計3年にわたり受講を進めます。
- ・基礎研修は、生涯研修制度(都道府県社会福祉士会に所属する社会福祉士を対象とした制度)の基礎課程に該当します。
- ・基礎研修は、認定社会福祉士制度の認証研修(認定社会福祉士認証・認定機構に認証された研修)です。基礎研修(基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲ)を修了すると、認定社会福祉士制度における認定社会福祉士の取得申請に必須となる共通専門10単位(生涯研修ルートで取得の場合)を得ることができます(その場合は、基礎研修Ⅰ受講開始から6年度間以内に基礎研修Ⅲまでを修了することが要件となります)。
- ・ばあとなあ東京に新規で名簿登録を希望する方は、2017年度より基礎研修を修了していることが養成研修受講の要件となります(登録には他にも要件があります。詳しくは権利擁護センターばあとなあ東京事務局までお問い合わせください)。

<基礎研修Ⅰのねらい>

社会福祉士としての自覚を促すとともに実践の基礎となる、価値・知識・技術について理解する。

<基礎研修Ⅰの目標>

1. 専門職が職能団体を構成する意義を知る。
2. 日本社会福祉士会、都道府県社会福祉士会の組織と役割を知る。
3. 生涯研修制度について知る。
4. 社会福祉士に共通する専門性について知る。
5. 実践現場における社会福祉士の専門性をふまえた役割を知る。
6. 実践をふまえて社会福祉士が倫理綱領や行動規範を持つ意味を知る。

<開催方法>

Zoomを用いたオンラインで実施します。

基礎研修Ⅰの修了には、Zoomでの研修のほか、課題提出やe-ラーニング学習が必要です。

※Zoomの受講においては、以下の9. 注意事項をご確認ください。

※e-ラーニング学習方法は、研修1日目に案内します。

2025年度から研修の申込から修了までの管理は、研修管理システム「manaable(マナブル)」を使用します。

<募集要項>

1. 研修日程

土曜コース：2025年9月20日(土) から 2026年1月24日(土) まで

日曜コース：2025年10月19日(日) から 2026年2月15日(日) まで

※土曜コース、日曜コースのいずれかを選択してください。

※土曜コースから日曜コース、日曜コースから土曜コースへの講座振替はできません。

2. 会 場

オンライン(Zoom ミーティングを使用)

3. 募集対象

社会福祉士の有資格者

4. 募集人数

各コース75名 ※先着順ではありません。応募者多数の場合は当会会員を優先し、抽選で決定します。

5. 受講料

11,000円(別途、基礎研修テキスト[上]巻テキスト代2,000円が必要です)

・振込先・振込期日は、受講決定された方にメールにてお知らせします。

・振込後の受講者都合による返金は応じかねます。

6. 申込み方法

研修申込には、「manaable」の新規登録が必要です。

下記いずれかより「manaable」にアクセスし、新規登録をお済ませの上、お申込みください。

・manaable 新規登録 URL <https://tokyo-csw.manaable.com/signup> ・QRコード→

・入会手続き中の方もお申込み可能です。入会手続き中の方は、6月30日(月)までに入会手続き(入会申込から入会金等の振込まで)をお済ませください。



7. 申込み締切

2025年6月30日(月)

※受講の可否は、7月上旬を目安に「manaable」上にてお知らせします。

8. 研修の中止について

自然災害等、当会の責に帰さない事由による中止の場合は振込手数料を差し引いた額を返金します。

9. 注意事項(Zoom 受講について)

・本研修は Zoom を使用して行います(参集型の研修ではありません)。

・各自にインターネット環境、使用する端末にカメラ機能・マイク機能があることが前提です。

受講にあたっては、原則としてパソコンで参加してください。

・研修は双方向で行います。Zoom 画面に受講者全員の名前、顔が映ります。

・研修当日に受講者の通信状態が悪い、または機器設定ができていない場合は、運営側が受講者個人に対して受講中断を判断する場合があります。

・研修の記録として、本研修内容をレコーディングする場合があります(レコーディングした映像は、記録以外に使用することはありません)。なお、受講者側での録画や録音は禁止いたします。

※「オンライン研修の受講について・注意事項等(2025年度版)」を必ずお読みください。

(「manaable」の新規登録後、「研修を探す」→「研修名」→研修詳細資料よりダウンロードしてください)

10. 申込み～事前課題提出までのスケジュール

<土曜コース・日曜コース共通>

受講申込み受付期間	2025年6月2日(月)から6月30日(月)まで
受講決定の通知	2025年7月上旬
研修1日目事前課題(2本)提出期間	2025年7月7日(月)から7月31日(木)まで

11. 受講開始以降のスケジュール

土曜 コース	集合研修1日目(オンライン)	2025年9月20日(土) 9:25 から 13:30 まで
	研修2日目事前課題・eラーニング※1	2025年9月22日(月)から12月7日(日)まで
	集合研修2日目(オンライン)	2026年1月24日(土) 9:25 から 13:00 まで

日曜 コース	集合研修1日目(オンライン)	2025年10月19日(日) 9:25 から 13:30 まで
	研修2日目事前課題・eラーニング※1	2025年10月20日(月)から2026年1月4日(日)まで
	集合研修2日目(オンライン)	2026年2月15日(日) 9:25 から 13:00 まで

※1 eラーニングシステムを利用し、以下の5講座を視聴します。

- ・生涯研修制度独自科目「社会福祉士会のあゆみ」(約60分)
- ・生涯研修制度独自科目「日本社会福祉士会の組織」(約30分)
- ・生涯研修制度独自科目「生涯研修制度」(約90分)
- ・ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ「社会福祉士に共通する専門性の理解」(90分)
- ・権利擁護・法学系科目Ⅰ「倫理綱領・行動規範の理解」(90分)

12. 研修プログラム(集合研修)

研修1日目 土曜コース・日曜コース共通		
時間	科目	講座名
9:25 ~ 13:30	オリエンテーション	開会あいさつ、受講における注意事項
	生涯研修制度独自科目	「東京社会福祉士会のあゆみ」(30分)
	ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ	「社会福祉士としての専門性について考える」(150分)
	事務連絡	e-ラーニング受講方法、 <u>研修2日目事前課題</u> の説明等
先輩社会福祉士の講話 ※参加は任意となりますが、事前申込が必要です(土曜、日曜どちらかを選択してください)。		
14:30 ~ 16:15	先輩社会福祉士から話を聞く※2	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>研修2日目の事前課題③</u>(次ページ「13.事前課題の提出について」参照)に取り組めるよう、先輩社会福祉士3人の方々から話を聞く場を設けます。 ・参加希望の方は、研修申込フォームからお申込みください。

※2 研修1日目終了後に「先輩社会福祉士の講話」の時間を設けます。

事前課題を提出できない方は、2日目の研修を受講できません。

他分野の先輩社会福祉士の話を聞く機会です。勉強のためにも、事前課題作成のためにも、

ぜひ、ご参加ください。

研修2日目 土曜コース・日曜コース共通		
時間	科目	講座名
9:25 ~ 13:00	連絡事項	—
	権利擁護・法学系科目Ⅰ	「社会福祉士の倫理綱領の実践適用」(180分)
	事務連絡	—

13. 事前課題の提出について

- ・課題に取り掛かる前に、必ず基礎研修 I ワークブックの該当ページを確認してください。
- ・事前課題は指定の書式を使用し、提出フォーム(manaable)から提出してください。
(各課題には、受講番号と氏名、課題ごとに合計文字数を記入してください)

研修1日目の事前課題 ※提出期間:2025年7月7日(月)から7月31日(木)まで

- ①「社会福祉士の役割を考える」(1,000~1,400字) →ワークブック P6
「生涯研修手帳」を読み、生涯研修制度の概略を理解してください。
そのうえで、社会福祉士としての専門性について、あなたの考えをまとめ生涯研修制度を通じてどのように研鑽を進めるかを、1,000~1,400字にまとめてください。
- ②「社会福祉士としての専門性について考える」(700~900字) →ワークブック P9
「社会福祉士の倫理綱領・行動規範」を読み、あなたが社会福祉士として大切にしたいことについて、700字以上900字以内で作成してください。

研修2日目の事前課題 ※提出期間は選択したコースにより異なります

- ①「社会福祉士に共通する専門性の理解」(1,000~1,300字) →ワークブック P37
『基礎研修テキスト』上巻のP12~P31「社会福祉士に共通する専門性の理解」を読んで、なぜ社会福祉士にとって共通する専門性が必要なのか、あなたの日頃の実践を振り返りながら、1,000~1,300字にまとめてください。
- ②「所属組織のソーシャルワーク実践について学ぶ」(1,100~1,300字) →ワークブック P39
所属組織におけるソーシャルワーカーとしての社会福祉士の役割を職場で活躍している先輩社会福祉士から話を聞いて現状を踏まえて考察してください。そのうえで、自らの現状と課題及び組織における現状と課題について、1,100~1,300字にまとめてください。

※現在所属先がないなどの理由で、所属先で話が聞けない場合は、この課題は提出せずに
事前課題③を3か所(他領域の3か所)提出してください。

- ③「所属組織以外のソーシャルワーク実践について学ぶ」(1か所につき1,100~1,300字、2か所以上)
→ワークブック P41
他領域におけるソーシャルワーカーとしての社会福祉士の役割を、所属組織以外の施設や事業所(独立型社会福祉士事務所を含む)で活躍している先輩社会福祉士から話を聞き、所属組織以外の社会福祉士が抱えるソーシャルワーカーとしての現状と課題について考察し、1,100~1,300字でまとめてください。
- ④「倫理綱領・行動規範の理解」(1項目につき1,000~1,400字×2項目)→ワークブック P44
あなたの日頃の実践を振り返り、「社会福祉士の行動規範」と照らし合わせ、2つの項目を取り上げ、あなたの実践を「社会福祉士の行動規範」1項目につき1,000~1,400字にまとめてください。

注意！！ 事前課題の提出は、合計6本です。

イ)所属先がない方、所属先に社会福祉士がいない方

→事前課題①×1本、事前課題③×3本(3か所)、事前課題④×2本(2項目)

ロ)上記以外の方(課題総数6本)

→事前課題①×1本、事前課題②×1本、事前課題③×2本(2か所)、事前課題④×2本(2項目)

お問合せ先 公益社団法人東京社会福祉士会 事務局 生涯研修センター担当:渡会・仲田・岩本
〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-43-11 福祉財団ビル 5階
TEL:03-5944-8466 / MAIL:syogaikensyuu@tokyo-csw.org